

おんな & おとこ

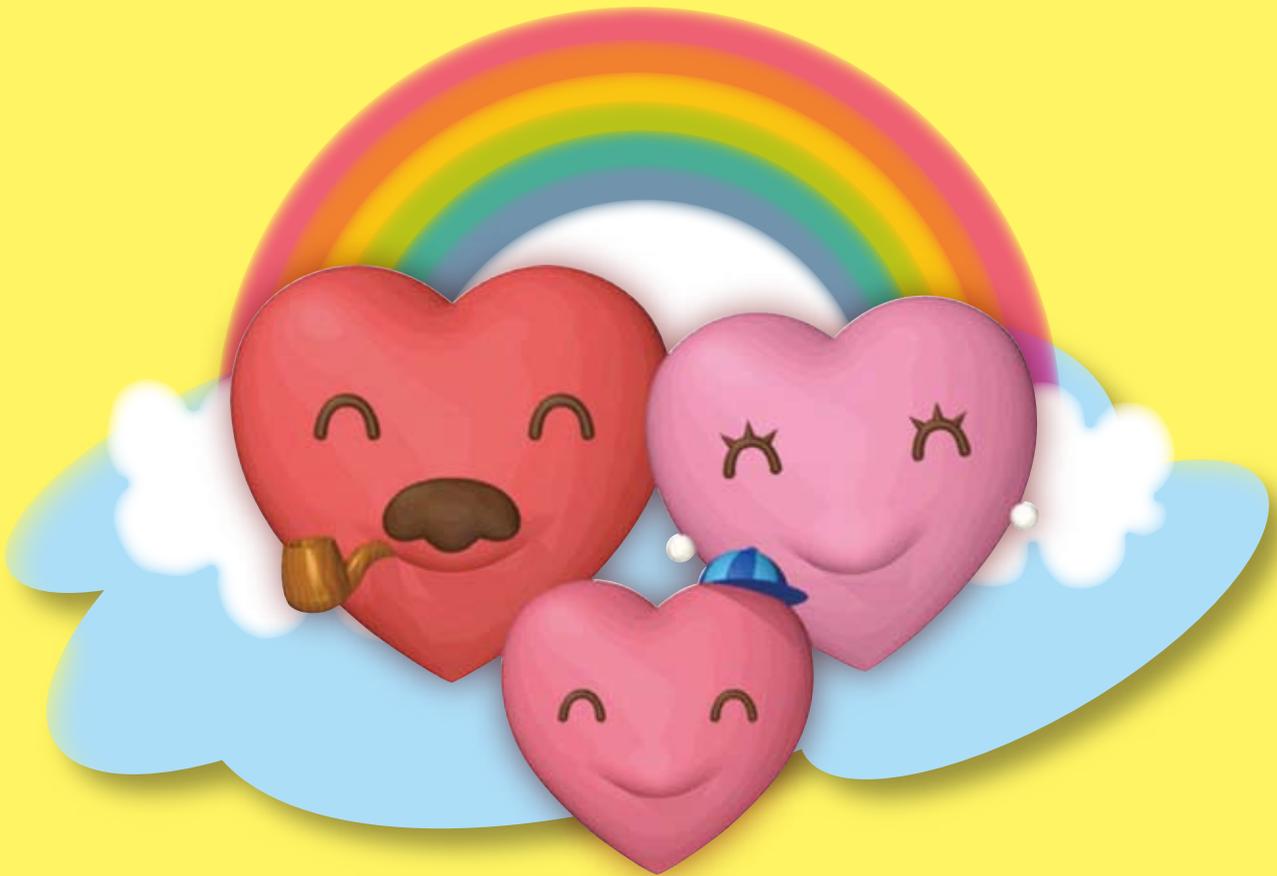
個性が輝く

まちが輝く

とっぎゃざー

八女市男女共同参画の実現に向けて

2010.3.第2号



情報誌「とっぎゃざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。

目次

ぶつぶつ☆つぶやき	2・3
がんばり夫婦にインタビュー	4・5
家庭での家事役割分担アンケート結果	6・7
書籍紹介	8

ぶつぶっ☆っぶやき

昔からのしきたりや慣わし、固定観念などで男女の役割を決めていませんか？今回、八女市に居住、勤務されている方を対象に家事役割分担のアンケート調査を行いました。また、夫、妻のお互いに対する言い分もお聞きしました。これらの声を生かしていただき、少しずつ歩み寄っていただけたら幸いです。

妻の言い分

月に2回の不燃物のゴミ出しで、家事をいっぱいやった気になっている夫。毎日ご飯作って、掃除して、洗濯して、どうみても私の方がやらなければならないことが多いと思いませんか？

40代 妻

『麦子さんの物語』を読んで、「私はまだ恵まれている！」と思ったけど、麦子さんの爆発する気持ちがよく分かります。我が家でも、「お母さんにばかり用事を頼んで、お父さんにも言わんね！」と子どもによく言います。共働きなのに、休日は家事に追われる私。ポーツとテレビ観とらんで手伝ってよ！

30代 妻

夫が料理をしてくれたら、まずほめる。次に感謝。感謝。だんだん上手になってきます。あとは思いやりかな。でも、こうなるまでに何十年かかります。

50代 妻

物申す!!



夫の言い分

一句

怒られ、怒られ、ヤルにはヤルが、「手抜き」とまた怒られ……。

私、褒められて伸びるタイプです。

40代 夫

家事の分担は圧倒的に妻が多い。できるだけ妻の負担を軽減するように心がけなければ……。

妻に感謝!

50代 夫

同居してもらっているのに、言いたい事も言わず我慢しているのに、ぶつぶつ言いやがって!

40代 夫



手伝えど
まだ足りない
つぶやかれ
三十代 報われない夫

自分一人がきついと思っている。仕事以外なんにもしないくせに!

30代 妻

自ら家事をすることは全くない。悪気はないのだろうが、気がつかない様子。休日も朝からパチンコに出かける。「子どもと遊んだら」と言っても、遊びつけていないため、子どもから受け入れてもらえない状態。唯一ゴミ出しは手伝ってくれるが……。期待するとがっかりするので、今では期待もしていない。 40代 妻

妻はよくがんばっていると思います。私は妻に甘えている部分が随分あると思うので、自分自身ががんばります。 30代 夫

私が頼んだことをしてほしいんじゃないよ。気づいてほしいだけ。わかってほしいだけだよ。 40代 妻



私が不在時の夕食作りや時に夫自ら実施の室内掃除や風呂掃除等、夫なりの共同参画の意識が窺えます。 60代 妻



せっかく洗濯物を干したりして協力しているのに、干し方に文句を言わないでほしい。 30代 夫

何も言わなくても、気付いたら茶碗洗い、ゴミ出し（生ゴミを畑に埋める）や洗濯などしてくれるので感謝しています。「ありがとう」は言うようにしています。 50代 妻

世の中、男と女しかいないのだから、助け合うのは当たり前。家の中を円く治めるのは夫婦の合わせワザですね。 50代 夫

玄関にゴミを置いていと黙って出してくれます。できることは何でもしてくれるので、一週間くらいは留守しても大丈夫。助かります。 50代 妻

妻の留守時には、当然飯の準備とかその辺の掃除はします。まア、妻がいないと生きていけないというところでしょうか。 70代 夫

お互い対等ですので、がんばっています。 40代 夫

何でもしてくれる夫に感謝。でも、してくれたことに苦情は言えない。 60代 妻



電気の消し忘れ、お湯の流しっぱなし、注意すると3倍くらいの小言がかえってきます。素直に聞きましょう。 60代 妻



男の人生も女の人生もなかなか大変です。ちょっとした気配りと行動で、相手に大きな喜びと元気が生まれます。平和な心が平和な家庭へとつながります。原点は『思いやり』かな？

がんばり夫婦にインタビュー



自営業（道の駅、病院等で弁当委託販売） 家族構成 落合武憲、落合澄子夫妻、長男（高校生）

起業のきっかけを教えてください。



一緒に仕事をしていて都合のいいこと、不都合なことはありますか？

結婚したときは共働きだったのですが、子どもが生まれ、子育てをする時期に預ける所がなかったので夫が職を辞し、子育て、家事をしながら平成10年に弁当業を始めました。私の実家が米農家だったので、米文化を伝えたいという思いもあり、50歳になった時、私も思い切って辞職しました。平成15年からは二人で経営しています。（妻談）

もともとは私が代表者でしたが、八女には40代から60代の女性起業家が沢山いらっしゃるのので妻と二人ですることになった時、屋号を変えたのを機に、妻を代表者にしました。（夫談）

お互いのわがママが出るのが欠点です。しかし、二人だと1+1=2でなく3になることがメリットだと思います。

（夫談）

調理をする時、夫は順番どおり作らないといけないけれど、私は順番が狂っても、出来ることを先に片付けてもいいと思っているので、手順でもめたりすることがあります。（妻談）

「福岡県女性総合センターあすばる」主催のセミナーを受講したきっかけは何ですか？



新聞であすばる女性起業家支援セミナーのことを知り、夫がすでに弁当業を営んでいましたが、現状のままではいけない、経済とか衛生とかその他色々な知識を得たいと思い、平成13年に受講し、週一回の講座に半年間通いました。食品関係、雑誌編集、陶芸、ガーデナーなど様々な職業を目指されている、20代から60代の女性40名ほどの方たちが受講されていました。私が受講した食品関係の講座は、経済、お金の借り方、決算書の作り方など多岐にわたる内容で大変勉強になりました。また、困った時に相談できる専門の先生方を知り得たことも良かったと思います。起業を考えていらっしゃる女性には是非受講していただきたいセミナーだと思います。

その後、夫も私も色々な講座を受講し、去年は私が調理師の免許を取りました。（妻談）

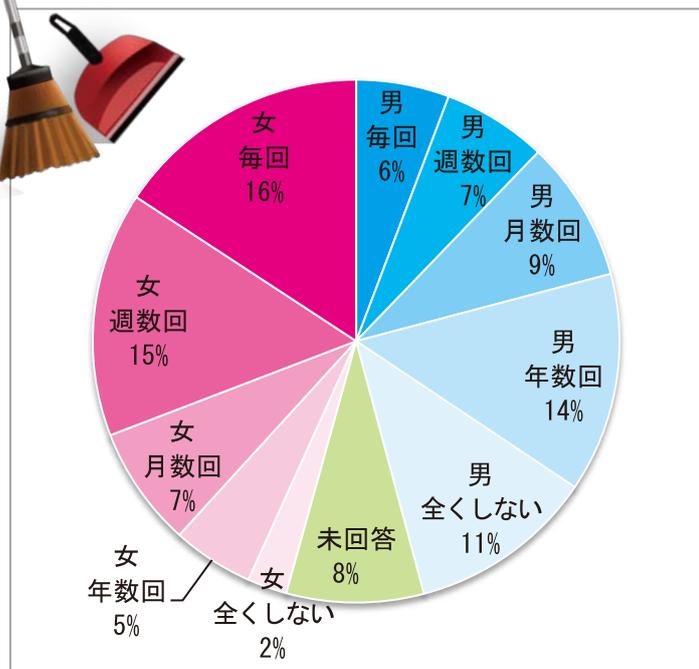


家庭での家事役割分担 アンケート結果

八女市に住んである方、勤務されてある方100名（20～70歳の男女各50名）に、家庭での役割分担（掃除、炊事、洗濯、育児・教育、町内行事）についてアンケートをとりました。

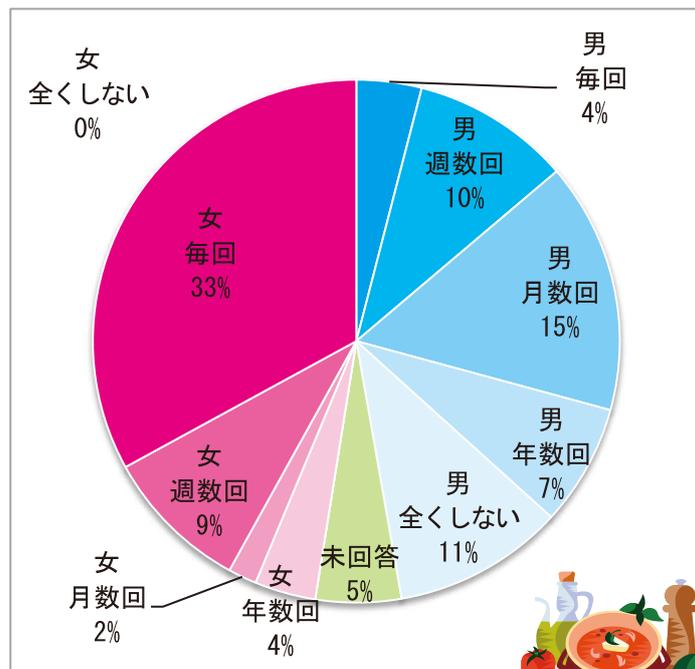
掃除

室内掃除、ふろ掃除、トイレ掃除、台所掃除、
ごみ出し（燃えるごみ、燃えないごみ）、草取り



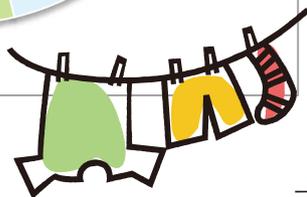
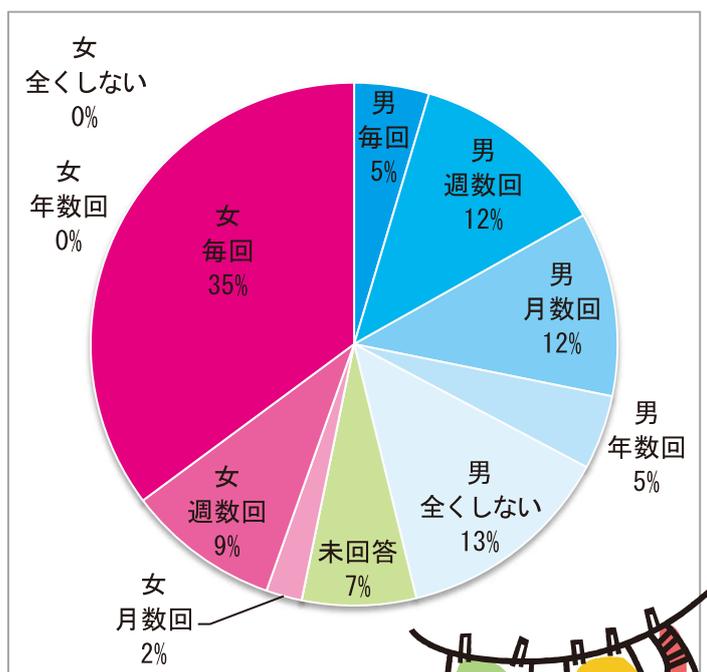
炊事

食材の買い物、調理、食事の準備、
食後の片づけ



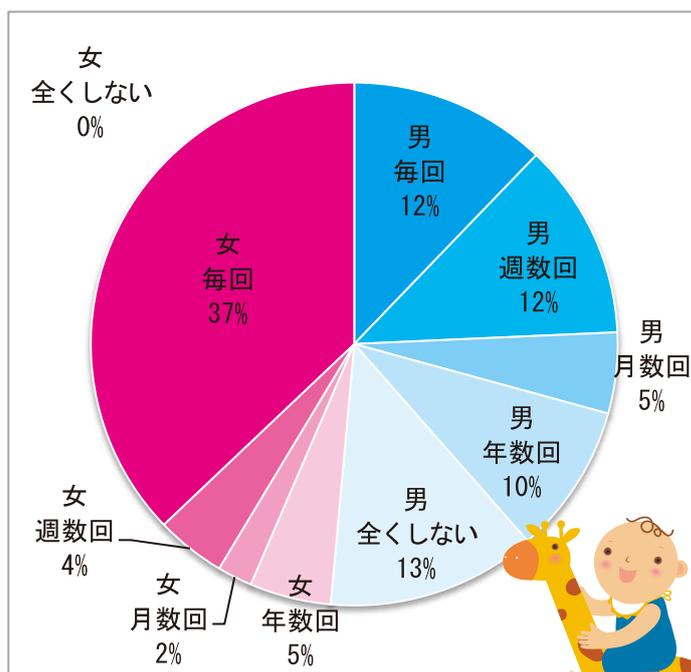
洗濯

洗濯、干す、取り込む、たたむ、収納



育児・教育

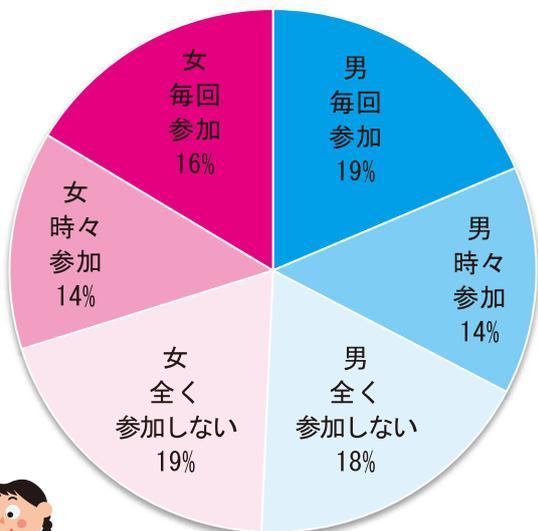
子どものあそび相手、おむつ交換、ミルクの授乳、
行事への参加（幼・保）、学校行事への参加（小・中・高）



※グラフは子どもがいる家庭の方（全体の28%）の内訳です。未回答・子どもがいない家庭の方は含まれていません。

町内行事

公民館掃除、お宮掃除、納骨堂掃除、
河川掃除、道路愛護、缶拾い



※町内行事が、行われている地域の方（全体の59%）の内訳です。未回答・行事が行われていない地域の方は含まれていません。



アンケートは、共働き家庭を対象にしたものがほとんどですが、掃除、炊事、洗濯、育児・教育において、毎回（毎日）主に担当しているのは、女性が多い結果となりました。町内行事への参加については、男性も女性もほぼ同じ割合で参加している状況にありました。

また、「全くしない」と回答した男性は全体平均で10%となっており、年数回でも家事を協力されている状況が伺えました。



「男女共同参画社会に関する世論調査」が内閣府から発表されました。

平成21年10月調査

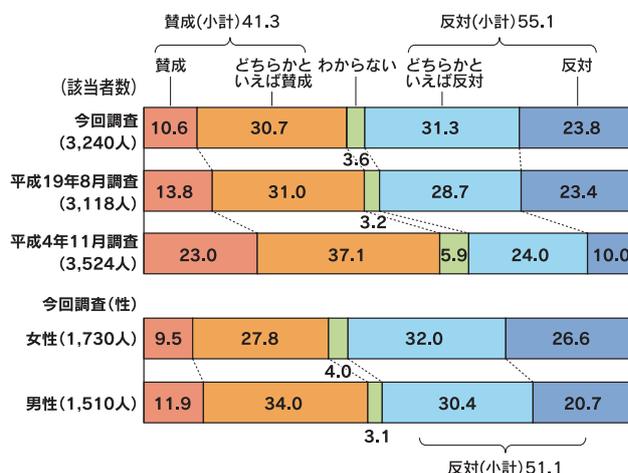
この調査は、男女共同参画社会や家庭生活等に関する国民の意識を把握するもので、平成19年に続き実施されました。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に反対する男性が初めて50%を超えました。また、女性が職業をもち続けることについても調査の度に肯定する意見が増加しており、意識の高まりも認められます。

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度については、複数を両立したいという希望が多いものの、現実にはそれが難しいというギャップもみられます。

詳細は、内閣府HPをご覧ください。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



書籍紹介



『生きるってすてき』

橋本 紀子（文）・高橋由為子（絵）

<内容>

この本には、ジェンダー・フリーな生き方を追求している人々や、その家族も含め、仕事や家族のようすも違う人たちが登場します。さまざまな家族と暮らし方があっていいんだということ、人は一人ひとりみんな違った個性を持っていて、心地よい暮らし方は、一人ひとりさまざまだということを伝えていきます。

※八女市立図書館においてあります。



八女市男女共同参画都市宣言

市民一人ひとりが いつでも どこでも
お互いに人権を尊重し 認め合い
男女が共に参画する社会をつくります。

それぞれが 社会の対等な構成員として
自覚と自立 意思と責任のもの
個性と能力を発揮します。

男女が思いやり 協力し合い
新しい息吹をはぐくみ
次世代に誇れる
元気なまちをつくります。

ここに八女市は
「男女共同参画都市」を宣言します。

平成19年3月24日

八女市



ひとりで悩んでいませんか

夫や恋人からの暴力、職場での性的嫌がらせ、性別を理由とした差別などに関する相談を受け付けています。専門の相談員が応じ、秘密厳守ですので安心してご相談ください。男性も相談できます。

♥相談日：毎月第2木曜日

♥会場：市役所内の会議室

♥申し込み・問い合わせ：

市役所男女共同参画・生涯学習課

男女共同参画推進係

(☎23-1314)



編集後記

人を変えたいなら、まず自分が変わることに。
自分がしてほしいことは、人にもしないこと。
なかなか出来ないけれど・・・

こらぼれーとH.I